

事業種目別 施設区分	事業最呼 称単位	補助率	融資取扱業種 (「」は内記入要領)
5 共同貯蔵所	棟坪	5割以内	共同利用施設 (その他)
木炭山元倉庫	棟坪	同上	同上
Ⅲ ~2沿岸漁村 振興共同施設			
1 共同作業 施設	棟坪 機械器具一式	同上	同上
2 漁船管理諸 施設			
共同船揚施設	カ所 器具一式	5割以内	共同利用施設 (水産その他)
漁船修理施設	棟坪 機械器具一式	同上	同上
共同給油施設	カ所	同上	同上
共同給水施設	カ所	同上	同上
共同充電施設	棟坪 機械器具一式	同上	同上
3 共同処理加 工施設			
簡易共同加工施設	棟坪 機械器具一式	5割以内	共同利用施設 (水産その他)
4 共同貯蔵販 賣施設			
簡易冷蔵施設	棟坪 機械器具一式	5割以内	共同利用施設 (水産施設)
簡易貯水施設	棟坪 機械器具一式	同上	共同利用施設 (水産施設)
簡易水産倉庫	棟坪	同上	共同利用施設 (水産施設)
共同荷捌施設	棟坪	同上	同上
5 水産畜産増 殖施設	カ所	5割以内	「のり竹ひび増殖は 坪かき簡易垂下標は 棚・他は棚とする」
漁集施設	カ所	同上	
増殖施設	坪又は棚 坪又は棚	同上	
蓄養施設	カ所坪	同上	
6 漁業用通信 施設	局舎	5割以内	共同利用施設 (水産施設)
IV 生活文化 研修施設			
1 青年研修 施設	棟坪又は 張附帯施設一式	5割以内	「建物…棟坪・大テ ント…張」
2 土地調査 施設	カ所	同上	
3 農事放送 施設	カ所	同上	
4 生活改善 施設			
生活改善施設	カ所	同上	
食肉処理加工施設	棟坪 機械器具一式	同上	
粉食等共同加 工施設	棟坪 機械器具一式	同上	
共同小製冷蔵施設	カ所	同上	

融資単独事業

事業種目別 施設区分	事業最呼 称単位	融資取扱業種 (「」は内記入要領)
6 融資事業		
1 土地改良		
耕地事業		
機械揚水	町	土地改良(か んがい排水)
用水路	m	全上
頭首工	町	全上
灌漑	町	全上
農道	m	土地改良(耕 地整備)
客土	町	同上
床締	町	同上
暗渠	町	同上
排水	町	同上
区備	町	同上

事業種目別 施設区分	事業最呼 称単位	融資取扱業種
索道	m	(土地改良耕地整備)
畑地かんがい	町	土地改良(畑地か んがい)
開田	町	土地改良(畑地か んがい)
開畑	町	土地改良(農地造 成)
2 桑園造成改良		
桑園造成	町	土地改良(桑園)
桑園改良	町	同上
3 牧野造成改良		
牧野隔離帯設置	m	土地改良(牧野)
牧野索道	m	同上
牧野索道場舎	カ所	同上
水飲	棟坪	同上
牧舎	棟坪	同上
Ⅱ 林業		
1 人工造林	町	林業(造林)
人工造林	m	林業(林道)
Ⅲ 漁業		
1 漁船		
IV 共同利用施設		
共同加工施設	棟坪 機械器具一式	共同利用施設 (その他)
共同加工施設	同上	共同利用施設 (畜産施設)
市乳処理施設	同上	同上
簡易屠畜場	同上	同上
肥料配合施設	同上	同上
2 共同貯蔵保 管施設		
農業倉庫	棟坪	共同利用施設 (農業施設)
肥料倉庫	棟坪	共同利用施設 (農業施設)
木炭倉庫	棟坪	共同利用施設 (林業施設)
水産倉庫	棟坪	共同利用施設 (水産施設)
水産冷蔵貯水庫	棟坪	同上
3 共同集荷販 売施設		
集荷場	棟坪	共同利用施設 (その他)
集乳所	棟坪 機械器具一式	共同利用施設 (畜産施設)
家畜市場	棟坪	同上
水産荷捌所	棟坪	共同利用施設 (水産施設)
水産荷揚場	棟坪	同上
水産集荷販売所	棟坪	同上
4 共同管理増 殖施設		
家畜人工授精施設	棟坪 機械器具一式	共同利用施設 (畜産施設)
孵卵育雛施設	棟坪 機械器具一式	同上
稚雛共同飼育施設	棟坪 機械器具一式	共同利用施設 (畜産施設)
水産増殖施設	カ所	共同利用施設 (水産施設)
5 漁船用保全 補給施設		
漁船修理場	棟坪 機械器具一式	共同利用施設 (水産施設)
漁船機器修理場	棟坪 機械器具一式	同上
漁船用給油施設	カ所	同上
漁船用給水施設	カ所	同上
充電施設	棟坪 機械器具一式	同上
6 漁業用通信 施設		
陸上無線電信電話 施設	カ所	共同利用施設 (水産施設)
7 その他共同 利用施設		共同利用施設 (その他)

新しい村づくり

政府の重要農林施策「度から実施されて来た、「新しい村づくり」運動もいよいよとして昭和三十一年「農山漁村建設」いわゆる「新」の第三年目を迎えました。

## 生活、所得水準の向上へ

### 研究、話し合い調査から



発行所  
長崎県大村市250番地  
大村市役所  
大電話(代表)750  
印刷所

政府施策の趣旨および構想はすでにお伝えしたとおりであります。この新農山漁村建設計画というものは、政府の施策で出されたというだけでなく、まじめな反省から出発して、みんな力を合せて新しい部落を、新しい村を作って行こうという意欲を農山漁民自身が発揮し、手を握りあひ経営を改善して生活水準、所得水準の向上をはからなければなりません。

つまり現在の農林経営の欠陥を打開し「明日への希望を持つこと」が一番大切なことである。政府の施策は物を作るだけではだめで、心を作るものである。過去を振り返り現在を正しく見つめることから明日への希望が生れる。明治から日本の農山漁村はどのように変化してきたか。その間における農山漁民の生活はどんな状態であったか。戦後の地位、経営、経済はどのように変化してきたか。他の産業との比較はどうであるか。我が村の現在のすがた、その特色を知り、これからさき、村の農業はどのように進めるべきであるか。

①計画樹立推進の単位は、知事が振興対策審議会(県)及び中心

②右のようにして計画を推進する中心としては、特に中堅青年の活発な推進力を期待し、それに青年婦人組織が積極的に研究し、かつ協

の意見を聞き、市町村長の意見を参考にして定める地域である。当市では、ご承知のとおり北、西、南、中央、の四地域に決定されている。新農山漁村建設計画は、この地域ごとに樹てられるわけであり、計画の内容は対象地域内の実態、諸条件を慎重に考慮し、一定期間内に実行ができる主要な点について地区内の団体が主体となり、実施し得る計画を定めなければならぬ。

ち部落、団体、各種研究グループが身近かなものから研究し、話し合い、調査を行い、その対策をまとめ、それを他の単位と協調関係した計画でなければ、机上案として樹てられたものであつて、大要次のような事項につき調査することが必要であると考えられる。

- ①自然条件に関するもの
- ②位置、地勢
- ③地質、土性
- ④気象の概況
- ⑤気温、晴曇、降水量、風向、降雪
- ⑥歴史的条件

力することが最も大切である。調査研究すべき事項

これはその部落なり、その地域の現状を正確に把握し、その特質を把握する阻害要因を見極めるためのものであつて、大要次のような事項につき調査することが必要であると考えられる。

(a) 社会的条件

- ①職業別戸数人口(性別、年令別)、人口動態
- ②土地
- ③耕地、山林の所有配分関係

(b) 左表(新農山漁村建設事業種目別補助及び融資取扱区分一覽表)の順序は二面の左からです)

新農山漁村建設事業種目別補助  
及融資取扱区分一覽表

Table with 5 columns: 事業種目別 (Project Category), 事業量 (Project Volume), 補助率 (Subsidy Rate), 融資取扱業種 (Financing Category), 備考 (Remarks). It lists various agricultural and rural development projects such as land improvement, forest management, and farm equipment.

Table with 4 columns: 事業種目別 (Project Category), 補助率 (Subsidy Rate), 取組形態 (Implementation Form), 備考 (Remarks). This table provides detailed implementation forms and notes for the projects listed in the previous table, including financing methods and specific conditions.

Vertical text on the right side of the second table, providing additional context and instructions regarding the implementation of the projects, such as the importance of local cooperation and the role of the government.